

海遊館 エントランスビル



メインビル 外観

海遊館の外観は、施設のコンセプトであるリング・オブ・ファイア（環太平洋火山帯）、リング・オブ・ライフ（環太平洋生命帯）を表現し、タイル張りの青い壁は、大海がたたえる水の豊かさを連想させている。



エントランスビル 外観

チケット窓口と入館ゲートの奥に位置する「海遊館エントランスビル」。ミュージアムショップやカフェ、ホールなどがあり、観光クルーズ船サンタマリア号のチケット売場も設けられている。



トイレ入口

トイレ入口のグラフィックパネルは、リニューアル前にミュージアムショップ側の壁にあったものを移設したもので、世界的なグラフィックデザイナー 田中一光氏の作品である。



トイレピクトサイン

トイレピクトサインは、海中をイメージさせるダイバーをモチーフに、細部まで海遊館らしい遊び心を取り入れている。



女性トイレ 入口

女性トイレの混雑緩和は大きな目的のひとつであり、ブース数を増やすとともに、出口と入口をそれぞれ設け、一方通行となるようにするなどの工夫を凝らしている。



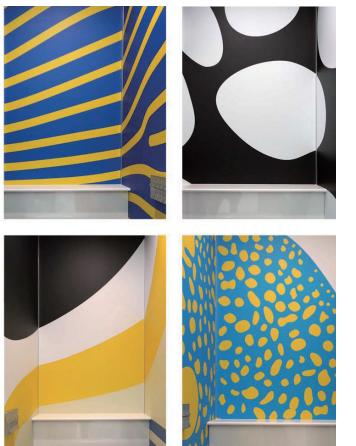
女性トイレ 全体

大便器ブースは10ブースから14ブースに増加。洗面は鏡なしのアイランド型とすることで、ひと目で全体が見渡せ、空き状況がわかるようにしている。



女性トイレ 全体

大便器ブースは使用時は全て同色の仕上げとなっており、ブース内外の壁で彩度に差をつけることで空き状況がひと目で分かるようにしている。

女性トイレ
大便器ブース

大便器ブースの内側の壁は、海遊館にいる魚の模様を抽出したグラフィックで彩られ、カラフルな色合いが特長の魚たちの模様に囲まれる「驚き」と「遊び」の空間を演出している。

女性トイレ
大便器ブース

海遊館で一番人気のジンベエザメの柄を抽出した内装。すべてのブース内には、モチーフとなった海の生き物についての解説が書かれている。また手荷物への配慮として、ライニングの甲板を50mm伸ばしている。

女性トイレ
スタイリングコーナー

洗面コーナーの混雑緩和を図るため、別途スタイリングコーナーを設けている。荷物配慮として、棚下にはフックを設置。



男性トイレ 洗面コーナー

洗面カウンターは、継ぎ目がなく衛生的で清掃にも優れたボウル一体タイプのツインデッキカウンターを採用。床への水垂れを抑えるため、クリーンドライ（ハンドドライヤー）を、洗面器の間に設置している。

男性トイレ
小便器コーナー

小便器は、節水性と床の清掃性に優れた、マイクロ波センサー壁掛小便器セットを採用。ライニングの上の棚は手前の縁を立ち上げ、一時置きた手荷物が落下しにくい仕様としている。

海遊館 エントランスビル



キッズトイレ

幼児用大便器とフィッティングボードを備えた、キッズトイレ。キッズトイレの内装は、子どもたちに人気のカクレクマノミの模様を抽出したデザインとなっている



おむつ替えコーナー

おむつ替えシートを2台備え、さらに足元に小上がりを造作。おむつ替えシートをたたむことで、履かせるタイプのおむつなどの交換の際に使用できるようにしている。



ホール

エントランスビル2Fにある「海遊館ホール」。約260席のホールの客席は、入口のグラフィックパネルとリンクさせるような色柄をアーティスティックに配列している。



授乳室

女性専用の授乳室。水色と優しい木目柄で授乳中のママと赤ちゃんがリラックスできる空間としている。



多機能トイレ

多機能トイレは、左右勝手違いで、2ヶ所設けている。



全体図面

空間全体のゾーニングを考え、2ヶ所あったトイレを1ヶ所に集約。また、多機能トイレは、共有部に配置することで、異性による同伴や介助が必要な方、性の多様性などに配慮し、利用者を限定せず使えるようにしている。



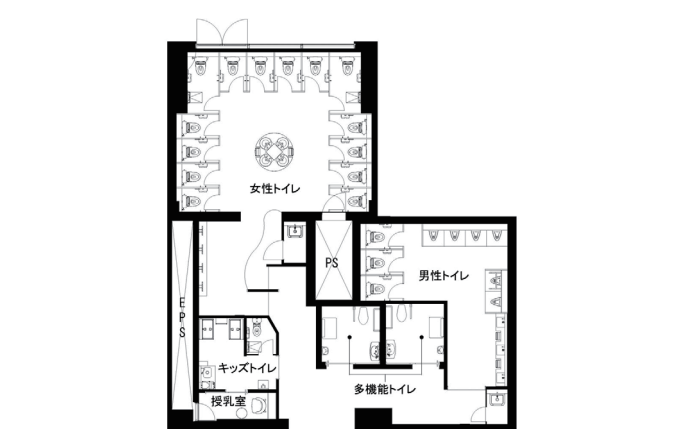
ミュージアムショップ

ウォーターフロントの立地を生かし、ショップの商品展示においても高さのある什器を減らし、開放感をもたせるとともに、見通しが良く外の海まで眺められるようにしている。



ロビー

トイレ前のロビーには、待ち合わせや休憩ができるようにベンチを用意。奥にはホールがあり、入口両側のグラフィックパネルはトイレ入口と同様に、リニューアル前に3Fに設置されていた田中一光氏の作品を移設した。



トイレ図面

トイレ出入口の前にはロビーがあり、修学旅行や遠足などの集合場所となることから、特に混雑しやすくなるため、動線の交錯を防ぎ、見通しのよいブレイアウトを意識している。

水まわりの特長

改修の経緯

大阪・ベイエリアにある世界最大級の水族館「海遊館」は、5,400トンの容積をもつ巨大な「太平洋水槽」を中心に、「リング・オブ・ファイア(環太平洋火山帯)」と「リング・オブ・ライフ(環太平洋生命帯)」をコンセプトに、極地から熱帯までの環太平洋のさまざまな地域を再現、展示。従来の水族館の印象を劇的に変えた施設である。年間260万人(平成29年度)の利用があり、日本国内の修学旅行や海外からの利用者も多い。1990(平成2)年にオープンし、2020(令和2)年に30周年を迎えるにあたり、設備の老朽化への対応や空間全体のゾーニングを整えフロア一体がシームレスに繋がる快適性を向上させるため、エントランスビル全体の改修を計画・実施された。

水まわりの特長

トイレ前に位置するエントランスフロアのロビーは、修学旅行や遠足などの集合場所となるため、特に女性トイレが混雑しやすく課題となっていた。女性を待たせないトイレを目標にトイレスペースを拡張、器具数を増数し、動線にも配慮した。また海遊館ならではの「遊び心」を演出するため、大便器ブースの内装は、海遊館の「太平洋水槽」などで飼育しているカラフルな魚の模様を抽出したグラフィックで彩られ、「驚き」と「遊び」の空間となっている。さらに扉の内側にモチーフとなった海の生き物についての情報を掲示するなど、トイレ空間においても、海遊館の楽しさやコンセプトに触れられるようにしている。

建築概要

名称	海遊館 エントランスビル
所在地	大阪府大阪市港区海岸通1-1-10
施主	株式会社海遊館
設計	株式会社トータルメディア開発研究所
施工	株式会社近創
竣工年月	(改修)2020年2月
敷地面積	15,800㎡
建築面積	2,460㎡
延床面積	8,700㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上4階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS497B
ウォシュレットアプリコットP(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5830
棚付二連紙巻器:YH702
チャームボックス(汚物入れ):YKB104
マイクロ波センサー壁掛小便器セット:XPU21A
ツインデッキカウンター(ポウルー一体タイプ):MKWE
洗面器:LS704CM
台付自動水栓:TENA41A
水石けん入れ:TLK05202J
クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC420W
LED照明付鏡:EL80016
幼児用大便器:CS310B+S300BK
ベビーシート:YKA25R
フィッティングボード:YKA41